

技工情報

◎CAD/CAM冠の適応症

- 1) 小臼歯の単冠症例
 - a) 適切な保持形態
 - b) 抵抗形態を付与でき、過度な咬合圧を回避可能
- 2) 大臼歯の単冠症例
 - a) 上下顎両側の第二大臼歯が全て残存し、左右の咬合支持を有し、過度な咬合圧が加わらない第一大臼歯
 - b) 金属アレルギー患者では全ての第一大臼歯
- 3) 前歯の単冠症例
 - a) 適切な保持形態
 - b) 抵抗形態を付与でき、過度な咬合圧を回避可能

◎推奨できない症例

- 1) 咬合面クリアランスが確保できない臼歯部
- 2) 唇舌の幅径が小さく唇舌側面イライランスが確保できない前歯
- 3) 軸面の削除量を確保すると抵抗形態が不十分となる前歯
- 4) 過小な歯冠高径
- 5) 顕著な咬耗(ブラキシズム)

◎考慮すべき事項

- 1) 部分床義歯の鉤歯
- 2) 事実上の最後臼歯(後方歯の欠損)

◎CAD/CAMインレー

- 1) 小臼歯に使用する場合
- 2) 上下顎両側の第二大臼歯が全て残存し、左右の咬合支持がある患者に対し、過度な咬合圧が加わらない場合等において、第一大臼歯に使用する場合
- 3) 金属アレルギーを有する患者において、大臼歯に使用する場合
- 4) 隣在歯との接触面を含む窩洞に限り認められます。

■CAD/CAMインレー 形成のポイント

インレー形成 〈良い例〉

- ボックス部マージンを1.0~1.5mm確保
- 狭窄部は垂直・水平的に1.5mm以上確保
- 6以上のテーパ
- 隣接歯との歯冠離開を付与
- マージンはパットジョイント(ノンベベル)
- 丸みをもった形成

重要
点・線・角が削力できないように、滑らかになるように形成してください。

インレー形成 〈悪い例〉

- スライスカット
- 複雑な窩洞形成になっている
- 窩縁に斜面(ベベル)が付いている
- 内壁や底面に凹凸が残っている
- 隣接歯と歯冠離開が付与できていない
- 頬側溝が狭い
- 鋭角な箇所が存在する
- 頬側溝が狭い垂直の高さが確保できていない
- ボックス形成が直線的である

インレー 形成用バー

	咬合面		隣接面	
	RS1	RS1ff	RS2	RS2ff
レギュラータイプ	-	-	-	-
超微粒タイプ	-	-	-	-
最大径(mm)	1.6	1.6	1.6	1.6

■CAD/CAM冠 形成のポイント

小臼歯/大臼歯

- 〈咬合面〉 1.5~2.0mm以上
- 〈隅角部〉 鋭角部がないように角を丸める
- 〈軸面〉 1.5mm以上 2面形成 6°~10°のテーパ
- 〈マージン部〉 約1.0mm

セラスマート クリアランスゲージ

先端径φ2.0mm 先端径φ1.5mm

●咬合面の厚みを簡単に確認できます。

前歯

- 〈切縁〉 1.5mm以上
- 〈軸面〉 1.0mm以上
- 〈隅角部〉 鋭角部がないように角を丸める
- 〈マージン部〉 高低差の少ないスムーズなフィニッシングライン

OK: ディープ(ベゼル) シャンファー / ラウンド ショルダー

NG: ナイフエッジ / シャンプ マージン (遠慮エナメル)

*アンダーカットがないならかな形成

支台歯 形成用バー

	隣接面	ガイドグループ付与	咬合面	仕上げ	歯冠形成
	カット	軸面形成/マージン形成	形成	形成	マージン形成
レギュラータイプ	A18	BR2	BR5	PR17	-
超微粒タイプ	-	-	-	-	BO1ff
最大径(mm)	1.6	1.6	1.9	2.3	1.8

セラスマート プレパレーションバーセット